

番号	ご意見(概要)	市の考え方
1	<p>1-1 計画策定の趣旨(1 ページ)</p> <p>地域交通安全活動推進委員協議会は、警察署の指導協力のもと、市内小学校での横断歩道誘導訓練や自転車安全教室、街頭での安全キャンペーン、高齢者対象の安全教室等の活動を積極的に取り組んでいます。</p> <p>そのため、計画策定の趣旨の文章の2行目「警察や交通安全協会等と協力しながら」と記述されているところを、「警察や交通安全協会、地域交通安全活動推進委員協議会等と協力しながら」と修正してください。</p>	<p>「計画策定の趣旨」のご指摘の部分につきましては、官民が協力して交通安全に取り組むことの主体の代表例として、町田市のほか、交通管理者として警察、任意の民間団体として交通安全協会を記載しています。</p> <p>なお、地域における子どもの見守り活動に地域交通安全活動推進委員が参加しているため、追記しました。</p>
2	<p>3-2 具体的施策 基本方針1 基本施策1 対象者に応じた交通安全教育の推進 (20 ページ)</p> <p>基本方針1の基本施策1では、対象者に応じた交通安全教育の推進として個別施策が5項目掲げられています。しかし、安全教育を実際に実施するためには、関係団体に講師を育成することが必要であるため、そのための方策を基本施策に盛り込んでください。</p>	<p>交通安全教育の講師につきましては、道路交通法に関する専門的な知識が必要なことから、警察が務めています。また、市や協働団体等は、交通安全教育の実施にあたって、様々な協力を行う役割を担っています。</p> <p>地域における交通安全教育の実施にあたっては、講師に限らず、地域や協働団体等の協力も不可欠であることから、頂きましたご意見を参考に、基本方針1、基本施策1「対象者に応じた交通安全教育の推進」および基本施策3「地域や関係機関・団体との連携・協力の推進」を進めていきます。</p>
3	<p>3-2 具体的施策 基本方針2 基本施策2 個別施策2 交通を制御する施設の整備 (36 ページ)</p> <p>横断歩道の手前にあるひし形マークと制限速度30キロを、自動車の運転手がどれだけ認識しているのかを考えた場合、通学路の横断歩道の手前に「ハンプ」を設置されれば運転手のマナー向上や減速を促す効果が大きいと思うので、「ハンプ」の設置も盛り込んでください。</p> <p>※ハンプ…自動車の速度を落とすため、道路上に設置するかまぼこ型の突起</p>	<p>「ハンプ」につきましては、ご指摘のとおり自動車の速度抑制効果が期待できます。しかし、自動車が通過する度に騒音と振動が発生し、周辺住民の生活環境に少なからず影響を与えます。通学路にある横断歩道は周辺に住居があることが想定されるため、「ハンプ」の設置は容易ではありません。</p> <p>このため、本計画には掲載しておりませんが、今後の交通安全対策の推進にあたっての参考とさせていただきます。</p>